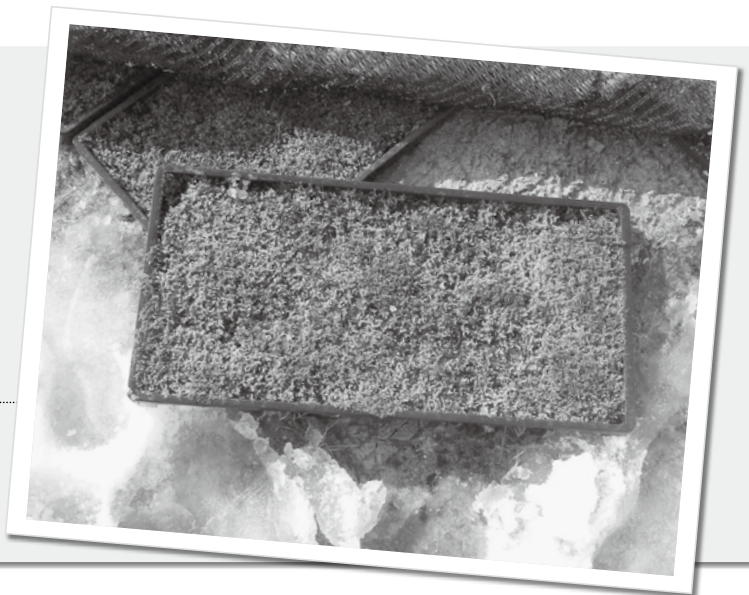


地域の環境改善に 貢献する農業

じゃこうじゅうきけんせつ
株式会社 麴香重機建設



企業理念

快適な地域作りと環境にやさしい企業

農業に対する思い

当社の行っているコケ栽培は未だ確立された農業であると思いません。しかし、環境や緑化問題がご理解頂ければ、現状の面積では供給ができない物であり、今後の需要を考えれば、当然遊休地、耕作放棄地の借り上げ、又は、委託栽培が必要と考えておりますので、地域の活性化につながるものと思っております。

きっかけから実際の営農開始まで

公共事業の減少から、道路周辺の除草回数が減少し、雑草の繁茂が気になり出した時、芝生栽培業の社長との対談の中で、管理が行き届かない芝生畑がコケに変わりだしたことを聞き、「コケが防草につながらないか」「コケで事業範囲を拡大できないか」と考えたのがきっかけです。その後、平成18年より、自社でコケ栽培に必要な環境の調査、市町村道の植樹帯をお借りして実証実験を繰り返した後、需要先の検討を行いました。平成20年に、県の農業参入サポートデスクと相談し、遊休農地の情報や、農地の基盤整備、並びに機械・施設の整備に係る費用の助成等にお世話をいただきながら、また、コケの知識が乏しい中で県央農林総合事務所、農業開発公社、河北潟土地改良区、津幡町、(財)石川県産業創出支援機構等のご指導をいただきながら営農を開始しました。

参入してから現在まで

コケ植物の調査から2年、農地を借り上げ、本格的に参入して2年が経過した状況ですが、コケの生育環境がよくわからず、平成20年度は露地栽培で500㎡の植え付けを実施しました。コケは他の植物と違い、根を張らない植物のためコケが風で飛散し定着しにくく、露地栽培での難しさを痛感したため、育苗トレイへの植え付けとハウス内育成の組み合わせで再挑戦しました。

その結果、一応満足できる結果が得られましたので、引き続きこの方法で再試行を考えております。平成22年度では借り上げ地全域での植え付けを予定しております。また、平成21年度の販売実績は当初計画には及びませんでしたが、着実に施行実績を増やすことができましたので、平成22年度の販売状況を検討しながら育成面積の拡大を検討することになるかと思っております。その場合は石川県や(財)石川県産業創出支援機構及び地域の方々のお力をお借りしながら、進めていきたいと考えております。また、コケ栽培の良さを知って頂くために地元の農業祭りやその他の催しに参加し、コケの良さ実感していただき販路が拡大できるように、親しみやすいコケの活用方法などいろいろなアイデアを社内で検討しております。

■ 企業のプロフィール（現況）

代表取締役	麿香 敏信
設立年月	昭和26年3月
所在地	かほく市白尾
資本金	2,000万円
事業内容	建設業
従業員数	19人

■ 農業参入状況

参入年月	平成20年4月
参入場所	津幡町湖東
借入農地面積	65a
主な作物	コケ植物（スナゴケ、ハイゴケ）
担当部署名	工事部
業務執行役員	麿香 敏信
業務執行役員数	2人
農業従事者数	5人 うち臨時雇用 1人

■ 参入を目指す企業へアドバイス

地域の方々に信頼されるとともに、先人の知恵と技術の習得が出来なければ商品開発により多くのコストが必要となります。従って、地域の方々の協力が得られるような努力が必要です。

将来はこんな農業をめざします！

地域の生活環境の改善、地球温暖化の抑制など、環境に貢献できる農業

Comment

農業分野の担当者から一言



コケの知識が乏しい中、試行錯誤を繰り返しながらの毎日ですが、年間を通して緑が美しいコケを見ていると癒されます。また、これまでコケの利用法をいろいろな方の意見をお聞きして、その意見に見合う商品開発を行うことは大変なことではありますが、その努力が販路拡大に繋がると思い、出来るだけ対応しようと考えております。

高農林総合事務所長より一言



コケ栽培という新しい分野への取り組みは、大変な苦労があるかと思いますが、そのような着眼点や発想は商品開発や販売方法へ十分生かされると思います。「環境」という世界的なテーマに係る新しい分野であるゆえそれを切り拓いて行けばすばらしい未来に繋がると考えます。